

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

復活の主日 Easter Sunday

週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った (ヨハネ 20・1)

**It was very early on the first day of the week and still dark,
when Mary of Magdala came to the tomb. (Jn 20-1)**

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15
1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo
Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



今日の行事： ご復活祭 洗礼式 パーティ

主のご復活おめでとございます！ Happy Easter

今日洗礼を受けられる方

10 時ミサ

モニカ いそとう しょうこ 磯藤 召子 松江地区

マリア そん みよんしゆく 宋 明叔 船堀地区

16 時ミサ

アウグスチノ しも よしふみ 司茂 嘉文 松江地区

マイケル しも ゆうき 司茂 祐輝

ジャスティン しも のりか 司茂 則佳

ソフィア しも よしみ 司茂 嘉美

Maria Celina かとう ともこ 加藤 智子 松江地区

First Communion Class

Class for candidates for First Communion is given by Bro. Ide & started February 28.

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals 8,953,113 yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders is taught, Interested applicants, please register to Fr. Jess

地区部会のお知らせ

4月3日ミサ後に地区部会を開きます。地区委員の皆さんは2階教室にお集り下さい。(地区部)

ウルスラ修道会でのミサ

これからは4月21日(木)、5月19日(木)、6月16日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

献堂 50 周年記念事業第 4 期献金報告

2016 年第 4 期中間報告 (2 月末現在)

申込者数：41 名 (目標：200 名)

献金合計：746,850 円(目標：3,000,000 円) 1

期からの合計は 8,953,113 円です。

今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

京葉宣教協力体 中高生キャンプ

4月2日(土)15:00~3日(日)ミサ終了まで。潮見教会に京葉宣教協力体の中高生が集まり、ウルスラ修道会・延岡の岸シスターのお話を聞き、バーベキューをして教会に泊まります。たくさんの参加をお待ちしています。

共同祈願の祈り

今日救い主キリストは

復活された。

50 周年ロザリオの祈りの報告(2016 年分)

2月まで22名277環です。今年は3,000環が目標です。よろしくお願ひ致します。

(50周年委員会)

その他今後の予定

03月27日(日) 復活の主日 **EASTER**

04月03日(日) 復活節第2主日 4月2日(土)~京葉宣教協力体中高生キャンプ

04月10日(日) 復活節第3主日

04月17日(日) 復活節第4主日

04月24日(日) 復活節第5主日

今週の掃除は4月2日(土)

北・西葛西地区です。皆様ご参加ください。

This Week's Church Cleaning Duty

April 2nd Saturday

Kita・Nishi-Kasai Group

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『復活の主日』C年

今日の福音 ヨハネによる福音 (20:1-9)

週の初めの日、朝早く、まだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に行った。そして、墓から石が取りのけてあるのを見た。そこで、シモン・ペトロのところへ、また、イエスが愛しておられたもう一人の弟子のところへ走って行って彼らに告げた。「主が墓から取り去られました。どこに置かれているのか、わたしたちには分かりません。」そこで、ペトロとそのもう一人の弟子は、外に出て墓へ行った。二人は一緒に走ったが、もう一人の弟子の方が、ペトロより速く走って、先に墓に着いた。身をかがめて中をのぞくと、亜麻布が置いてあった。しかし、彼は中には入らなかった。

続いて、シモン・ペトロも着いた。彼は墓に入り、亜麻布が置いてあるのを見た。イエスの頭を包んでいた覆いは、亜麻布と同じ所には置いてなく、離れた所に丸めてあった。それから、先に墓に着いたもう一人の弟子も入って来て、見て、信じた。イエスは必ず死者の中から復活されることになっているという聖書の言葉を、二人はまだ理解していなかったのである。

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to John (20:1-9)

He saw and he believed

It was very early on the first day of the week and still dark, when Mary of Magdala came to

the tomb. She saw that the stone had been moved away from the tomb and came running to Simon Peter and the other disciple, the one Jesus loved. "They have taken the Lord out of the tomb" she said "and we don't know where they have put him."

So Peter set out with the other disciple to go to the tomb. They run together, but the other disciple, running faster than Peter, reached the tomb first; he bent down and saw the linen cloths lying on the ground, but did not go in. Simon Peter who was following now came up, went right into the tomb, saw the linen cloths on the ground, and also the cloth that had been over his head; this was not with the linen cloths but rolled up in a place by itself. Then the other disciple who had reached the tomb first also went in; he saw and he believed. Till this moment they had failed to understand the teaching of scripture that he must rise from the dead.

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザカイとマタイは富への執着から解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人^{ぬすびと}には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感ずることができるよう

に。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる

年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放を、

目の見えない人に視力の回復を告げることができるよう

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。

アーメン。

いつくしみの特別聖年をすごすために

免償（注1）をいただく為に例えば次のような清めと償いの行いが勧められています。

- 1) 指定された聖堂を訪問（注2）して所定のお祈りをし（教皇による特別聖年の祈り）、信仰宣言を唱える。
- 2) 司祭からゆるしの秘跡を受けまた聖体拝領する。
- 3) 聖書を通して神の慈しみを深く黙想する。
- 4) 神のいつくしみになつた行いを実行する。

注1：「免償」とは教会が定めた条件のもとに償いの効果をもたらす罰を免除することです。

注2：指定聖堂は東京カテドラル聖マリア聖堂、築地教会、神田教会、麹町教会、八王子教会、西千葉教会です。（東京教区の歴史を振り返っていただきたいという思いからです）